

☆**エチケット集**（ACP実践のための河内長野市れんけいエチケット集）第2版刊行 <令和3年3月>
エチケット集には、異なる職種が連携するときに、お互いの立場を理解し、思いやりをもって行動することが、相互の信頼関係を深め、気持ちよく仕事をするにつながることを目的に、相手を不快にさせないためのエチケット、マナー、気配り等が書かれています。もちろん、意思決定支援におけるACPの場面でも、相手に対するエチケットは大切です。平成29年1月の初版以来、4年ぶりのリニューアルです（別添）。

☆**まちなのれんけい室市民相談会α** 午前10時～午後4時<於・河内長野市医師会地域連携室>
第17回3月18日（木）、第18回4月15日（木）、第19回5月20日（木）、第20回6月17日（木）の開催予定です（予約可）。医療、介護、福祉、成年後見、遺言、相続等の相談を行っています。相談は、対面の他、電話、FAX、メールも可能です。なお、市民相談会β（出張相談会）は現在の所、予定はありません。

■**ミニれんけいカフェ**（於・地域連携室会議室）<マスクの着用はじめ、感染予防に御協力下さい。>
ミニれんけいカフェを4月27日（火）と28日（水）の2日間にわたり計4回（両日とも13:30～14:30、15:00～16:00）開催します。4回とも入れ替え制で、内容は同じです。お申し込みは、原則医療機関・事業所1名でお願いします。但し、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、日程等が変更になることがあります。

◇河内長野市市民保健部との懇談：2月15日（月）・16日（火）・24日（水）・25日（木）にありました。その中で、河内長野市地域ケア会議（全体会議）の議案等について検討しました。
また、2月22日（月）には、「おれんじチーム」のチーム員会議が開催されました。

■**河内長野市医師会認知症部会**：第10回2月8日（月）開催（於・河内長野市医師会地域連携室会議室）
上記活動報告の他、第8期河内長野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画案の認知症・成年後見関連事項、警察庁の高齢ドライバー対策、厚生労働省「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」、アルツハイマー発症予防薬の治験等についての説明がありました。また、コロナ禍での活動制限に関して意見交換等があり、「コミュニティが分断され、病気の重症化、認知症の進行、うつの発症などが惹起している」とされました。なお、**第11回**は6月10日（木）午後2時から、**地域連携室にて開催の予定です**。

☆在宅医療・介護連携推進事業における広域連携の推進のために！

■多職種への「FAX送信」は、昨年3月19日（木）の開始以来、順次連絡、情報提供などを行っています。
■現在**MCS**（メディカル・ケア・ステーション）を使つてのクラウドシステム（れんけいカフェグループ）への加入を募っております。現在、48名の加入です。加入の場合は、上記多職種への「FAX送信」に代わり、**MCS**による情報提供を実施しています。なお、**MCS**は現在、全国200以上の医師会で活用され、医療介護ユーザーは約13万人です。**MCS**のお問合せ等は、地域連携室迄ご連絡下さい。

■(A)「かわちながの連携シート」、(B)「かわちながの連携シート<サービス担当者会議用>」、(C)「かわちながの主治医意見書連絡シート」（介護保険制度用）は、本会ホームページからワード版がダウンロード可能です。(A)(B)の連携シートが送られてきた際は、ぜひ返信をお願いします。また、(C)の連絡シートが届きましたら、「主治医意見書」作成の際にご活用下さい。

■河内長野市ブルーカードシステム：①「ブルーカード」は、本人・キーパーソン・主治医がわかる医療用の「パスポート」です。「医療情報提供書」や「事前表示書」(リビングウイル)ではありません。②かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」としての登録が必要です。随時登録申込みを受付けていますので、お問合せは地域連携室迄ご連絡下さい。③急変時の受診連携システムが確立している(受診病院が確保されている)場合は、「ブルーカード」の発行対象にはなりません。ご注意ください。④新型コロナウイルスにより、救急診療が一時停止されたときや専門医不在のときなどで、登録(連携)病院が対応できない場合は、他の病院に搬送される場合があります。

連携病院 榎本病院、さくら会病院、沢田病院、大阪南医療センター、南河内おか病院、寺元記念病院 **協力病院** 近畿大学病院、阪和いずみ病院、ベルランド総合病院、大阪はびきの医療センター、城山病院、藤本病院、田辺脳神経外科病院、老寿サナトリウム、滝谷病院、青山第二病院、てらもと医療リハビリ病院 **ブルーカードシステム推進委員会参画病院**(委員会のみ) 富田林病院、PL病院
<以上、19病院> ※連携病院・協力病院もブルーカードシステム推進委員会参画病院

■河内長野市地域ケア会議ブルーカードシステム推進委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。それに代えまして、本システムの状況等の書面報告が行われました。

なお、本システムにおける**MCS**への加入医療機関は28医療機関(37医療機関中)、加入連携病院は4病院(6病院中)となっています。

■河内長野市地域ケア会議地域づくり検討委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりましたが、下記の通り、課題解決チーム(メンバー：本会、市役所、社会福祉協議会、ケアネットワーク会議等)を設置し、その解決に向けた取組みが開始されました。なお、地域づくりにあたっては、患者さんを取り巻く医療介護福祉職、成年後見人等、ボランティア、家族の情報共有が重要とされています。

■**同課題解決チーム打合せ**：2月25日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

昨年度の地域ケア会議(全体会議)で課題として挙げられた、地域の方への服薬の見守りに関して、その広報啓発活動等に関して初の打合せが行われました。検討の結果、「薬をきちんと飲みましょう」(仮称)チラシを作成することになりました。

■河内長野市地域ケア会議認知症施策検討委員会兼認知症初期集中支援チーム検討委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。それに代えまして、おれんじチーム、認知症パートナーはじめ河内長野市における認知症施策の活動等の書面報告が行われました。

◇(厚生労働省委託)三菱総合研究所主催感染症対策のための実地研修：2月4日(木)開催(於・河内長野市医師会館)

当日は、喜田大阪府立大学地域保健学感染看護学分野准教授による新型コロナウイルス感染症に関する講演があり、質疑応答が行われました。また、本会訪問看護ステーション・ケアプランセンターにおける環境や物品の取扱い等についての実施指導も行われました。

◇**南河内感染対策ネットワーク研修会**：2月25日(木)開催 **ZOOM**

「看護と介護の現場で今できる感染対策を考えよう！」をテーマに開催されました。製薬会社の学術情報部、大阪南医療センター看護師からの講演の後、水野宅郎先生から、「発熱・検査医療機関における実際一職員の新型コロナウイルス感染事例を経験してー」と題しての実例報告等がありました。

□大阪府医師会「入退院支援における多職種連携のあり方を考えるシンポジウム」:1月23日(土)開催(於・大阪府医師会館)

「入退院からACPへのアプローチ」をテーマに、ACPの取組みについて、基調講演の後、在宅医、在宅医療推進コーディネーター、ケアマネジャー、MSWの立場からの報告が夫々ありました。また、「大阪府入退院支援の手引き」修正版が発出されました。手引き(コピー版)希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

□大阪府医師会新型コロナウイルス拡大シンポジウム:2月7日(土)開催 [YouTube](#)

「未知の感染症にどう向き合うか ウィズコロナー医療、介護、新たな生活様式」をテーマに、朝野和典大阪大学感染制御学部長、吉村洋文大阪府知事、茂松茂人大阪府医師会長、中江有里氏(女優)の講演が夫々ありました。各々立場からの状況説明や取組み報告の他、ワクチンに対する期待が示されました。パワーポイント資料(中江氏はなし)希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

□第7回大阪府訪問看護シンポジウム:2月20日(土)開催(於・大阪府医師会館) オンライン参加可

「災害時対策の実際を知り、災害に強い地域づくりを考える ～知っていますか?わたしたちの活動～」をテーマに、基調講演(DMAT・JMATの実体験をもとに、現在の課題を考える)や討論会(災害に強い大阪をつくるために)が各々ありました。後者では、医師、訪問看護師、ケアマネジャーらがシンポジストを務めました。

□高齢者支援における相続に関する懇談:2月22日(月)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

相続に詳しい行政書士さんから、昨今相続ではなく「争族」になりがちな遺産分割協議や死後事務委任契約のあり方等について、色々とお伺いしました。その中で、特に、遺言書の必要性、遺言執行者の重要性が各々強調され、質疑応答等がありました。

「まちのれんけい室市民相談会α」のチラシと啓発用(ACP等)の「ポケットティッシュ」を作っています。医院の待合室に置かせて頂ける先生がおられましたら、地域連携室(54-1700)迄ご連絡下さい。お待ちしておりますので、宜しくお願いします。

☆ご案内 コロナ禍に負けないための、もしものときの緊急情報案内！

●消費者庁・国民生活センター [消費者ホットライン](#):0120-213-188か188(全国共通・有料)

●同 [消費者ホットライン](#)(新型コロナワクチン詐欺):0120-797-188か188(全国共通・有料)⇒次頁

●大阪府ひきこもり地域支援センター:06-6697-2890(平日10:00~16:00、土日祝・年末年始除く)

●大阪府労働相談(無料):06-6946-2600 セクハラ・女性相談:06-6946-2601

平日9:00~12:15・13:00~18:00、木曜日は20:00迄、他に職場のメンタルヘルス専門相談も有(要予約)

●法務省法テラスサポートダイヤル:新型コロナウイルスによる各種支援制度、法制度、相談窓口の情報は、0570-07-8374(通話料有料・平日9:00~21:00、土曜9:00~17:00、日祝・年末年始除く)

●全国 [安全運転相談ダイヤル](#):#8080シャープ ハレバレ(通話料は利用者負担、平日のみ)

●警察相談室(生活の安全に関する不安・悩み):#9110(有料) ●[児童虐待通告・相談](#):189(有料)

□[バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展 2021](#)(於・インテックス大阪)

<開催>8月25日(水)~27日(金)、いずれも10:00~17:00←リアル展示会

□[バリアフリー ONLINE](#)<開催>9月6日(月)12:00~21日(火)17:00

<趣旨>ウィズコロナ時代の出展者と来場者を結ぶ「出会いの手段」として、初めてのオンライン開催です。参加者には、医療、介護、福祉、行政等の関係者が見込まれています。

◇ミニトーク(懇談)からあれこれ ～ちょっとした立ち話や何気ない話から～

(1)外国人の介護人材等に関する懇談(2月12日・金):ある看護師の方と話をしました。コロナ禍後は、益々外国の方が増えてくることが予想されるので、今後は日本語対策が、施設の課題の一つになるとの認識で一致しました。また、在留資格や就労ビザの問題などの専門知識も必要となってくると思われます。

(2)遺言に関する懇談(2月12日・金):ある行政書士の方と話をしました。最近、片方の配偶者に内緒で、遺言書を作成するということが増えてきています。そして、昨今相続ではなく「争族」といわれることが多くなっていますので、改めて、生前準備としての遺言書の必要性を痛感した次第です。

(3)生前整理に関する懇談(2月19日・金):あるヘルパーの方と話をしました。コロナ禍後、生前整理でも、特に、賃貸住宅の退去(介護施設入居による)、家財処分の事例が増えてくるとの見通しで一致しました。

(4)相談援助アプローチに関する懇談(2月20日・土):ある行政書の方と話をしました。時代の変遷とともに、昨今相談援助技術の展開(クライアントへのアプローチ)が難しいとの認識で一致しました。

(5)詐欺等に関する懇談(2月23日・火):ある看護師の方と話をしました。「悪いヤツ」はどこにでもおり、特に、独居の高齢者を狙った詐欺や窃盗まがいのことが起こっています。そのため、日頃から、高齢者宅に行く機会のある専門職は、「変化を見逃さず、気を付けましょう」ということになりました。

☆【Topics】

○「**新型コロナワクチンに便乗した詐欺**」:便乗悪質商法に注意して下さい。新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報をごまかす電話に関する相談が、消費生活センターへ寄せられています。市町村が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話・メールで求めることはありません。困ったときは悩まず、消費者ホットライン(右記)に相談しましょう。また、188でも受け付けています。



～新型コロナワクチン詐欺に関する相談を受け付けます～

独立行政法人
国民生活センター

**新型コロナワクチン詐欺
消費者ホットライン**

フリーダイヤル
0120-797-188
(通話料無料)

受付時間: 10時～16時(土日祝日含む)
対象地域: 全都道府県

※050から始まるIP電話からはつながりません。
※おかけ間違いにご注意ください。

<相談事例>
「新型コロナワクチンが接種できる。後日全額返金されるので10万円を振り込むように」との不審な電話がかかってきた。

188でも受け付けています*
(通話料無料)

消費生活センター
消費生活相談員
消費生活アドバイザー

○「**内閣官房孤独・孤立対策担当室**」:新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛に伴い、他人との接点が減り、深刻さを増す孤独・孤立問題に関し、2月19日(金)に立ち上げられました。自殺防止、学生支援、子ども貧困対策などの政策調整等を担います。まずは、支援団体を招いた緊急フォーラムを開き、課題の整理に取りかかり、府省横断の連絡会議の創設も検討します。

○「**外国人人材の受入れ**」:現在外国人の看護・介護人材については、EPA(経済連携協定)、在留資格、技能実習、特定技能によるものがあり、夫々の制度趣旨に沿った受入れが進められています。特に、EPAでは、インドネシア、フィリピン、ベトナムの3ヶ国から、外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れを実施してきており、累計人数は6,400人を超えています。そのうち、国家試験合格者は、看護師・介護福祉士合わせて1,700人強に上っています。

○「**大阪府ワクチン接種推進課**」:新型コロナウイルスワクチンの接種事業を統括し、市町村に向け、接種を行う医療従事者や会場の確保などを支援するため、2月15日(月)に立ち上げられました。大阪府は、3月から医療従事者への先行接種を始め、4月以降に高齢者らへの接種を進め、9月末迄には希望する府民への接種を終える目標を掲げています。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL: 54-1700 FAX: 54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス: chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>